

小野町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画審議委員会開催



審議委員会の様子

11月21日、母子健康センターにおいて、小野町高齢者保健福祉計画・小野町介護保険事業計画(第4期)審議委員会を開催しました。

同委員会は、小野町高齢者保健福祉計画及び小野町介護保険事業計画(3年を1期として定める計画)の策定及び進行管理に関する事項を審議するものです。

会議の冒頭に、新たに委員となられた方々に対して、町長より委嘱状の交付を行いました。

- ①第3期事業計画(平成18年度～平成20年度)の事業経過報告について
- ②第4期事業計画(平成21年度～平成23年度)について
- ③第4期事業計画策定のためのアンケート調査結果について

会議では、この3件を議題とし、主に介

護保険事業の現状と第4期計画における事業運営の見直しについて説明を行い、質疑応答が行われました。

委員からは、介護療養病床の廃止に伴う町の対応で、第3期計画における介護給付費に実績と大きな隔たりが生じた原因は何か、介護老人保健施設の新設計画の予定についてなど、質問や意見が寄せられました。今後は、委員の皆さんから寄せられたご意見・ご要望をもとに来年度を初年度とする計画の策定作業を進めてまいります。委員の皆さんは、次のとおりです。

(敬称略)

●委員 長
佐藤 次男(民生委員協議会長)

●副委員 長
吉田 昭二(特別養護老人ホームこまち 荘施設長)

●委 員

藤井 文夫(公立小野町地方総合病院長)
坪井 裕子(訪問看護ステーションこま

ちの里所長)
国分 伸三(デイサービスセンターあす

か管理者)
大竹 芳文(第1号被保険者代表)

佐藤 光重(第1号被保険者代表)

吉田 弘子(町民の代表者)
佐藤 美子(町民の代表者)
大和田夕力子(町民の代表者・日赤奉仕

団すみれ会事務局長)

◆問い合わせ

健康福祉課
☎721-6934

認定農業者と農業委員が意見交換

11月21日、JAたむら小野支店において、認定農業者と農業委員の意見交換会が開催されました。

この意見交換会は、担い手となる農業者の意見・要望を整理し、農業委員会活動を通して、今後の地域農業施策として実現しようとする取り組みの一つです。

当日は、認定農業者や農業委員等の参集のもと、全国農業会議所から講師を招き、国民の食料生産基盤となる農地の有効活用に向けた国の考え方を聞き取りました。

その後の意見交換では、担い手農家が農業経営の規模拡大を進めるには、活用されない農地を借りるため、農地情報が欲しいなどの意見が出されたほか、農業経営により他産業並みの所得が確保できるような制度づくりを国策として行ってほしいとの強い要望が出されました。



活発な意見交換が行われました

～実践しましょう！冬の省エネルギー対策～

- 深刻な地球温暖化にストップをかけるためには、一人一人が問題意識を持ち、省エネルギー対策を実行することが大切です。冬の省エネルギー対策を実践しましょう。
- 暖房は20℃を目安に温度設定しましょう。
- こたつは、こたつ布団の他に敷布団と上掛けも使用して、こまめに温度設定を調節しましょう。
- 洗いのものをする時の給湯器の温度設定はできるだけ低くしましょう。
- 煮物などの下ごしらえは電子レンジを使用しましょう。
- 電気ポットは、長時間使わない時にはコンセントからプラグを抜きましょう。
- お風呂は、間隔をおかずに入るようにして、追い焚きをしないようにしましょう。